

地方都市視察報告書

文教子ども家庭委員会

1 実施日

平成25年10月23日（水）

2 視察地 兵庫県相生市

【市の概要】

(1)面積 90.46km²

(2)人口・世帯数（平成25年7月1日現在）

人口 30,982人

世帯数 13,239世帯

(3)兵庫県の南西部に位置し、南は瀬戸内海国立公園の一部を含み、北は播磨科学公園都市、北東は「赤とんぼ」の詩情豊かなたつの市、西は「赤穂義士」で名高い赤穂市に接し、海岸部から平地、山間部へと伸びる南北に長い市域である。

平成23年4月1日相生市子育て応援都市宣言をし、子育てしやすい環境を整え、人口減少対策や定住化促進を進めている。「あいおいが暮らしやすい11の鍵」として、子育て応援券対策事業や給食費無料化事業などを行っている。

3 視察項目・内容

子育て支援策について（子育て応援券等）

4 視察参加者

【委員】

阿部早苗委員長 野もとあきとし副委員長 桑原羊平委員

川村のりあき委員 佐原たけし委員 志田雄一郎委員

赤羽つや子委員 えのき秀隆委員

【随行】

議会事務局議事係 浜野智子 氏家あふゆ

5 視察結果・所感

相生市は、石川島播磨重工の企業城下町であるが、近年企業の工場規模縮小による人口の減少が大きな課題となっている。

このような中、市では「子育て応援都市」宣言をし、子育てしやすい環境を整え、人口減少対策や定住促進を推し進めている。

「11の鍵」として進めている事業のうち、「新婚世帯への家賃補助」「幼・小・中学校の給食費の無料化」「子育て応援チケットの交付」などの説明を受け、質疑を行

った。

新婚世帯への家賃補助については、近隣自治体より地価が高い相生市に住む新婚世帯には効果があるとのことであった。不動産、メディア、SNSなどを活用することでかなり周知されていることも確認できた。また、給食無料化については、小学校の調理室で作った給食を幼稚園、中学校へ運ぶ親子方式を取っている。「財政的に続くのか」「食育の基本は保護者ではないか」など、さまざまな反響があったが、行財政改革によって生み出した財源により実施していること、中長期のシュミレーションを行った上での実施であることなどを丁寧に説明し対応したとのことである。

幼稚園から配膳や食べ方の教育をすることで、小学校にあがった時の抵抗が少ないことや、栄養バランスを考慮した和の食材を幼少時から食べることの効果などについて説明を受けた。

子育て応援チケットについては、応援券の見本を見せてもらい、どのようなサービスを受けられるのか説明を受けた。ファミリーサポートセンターなど子どもを預かるサービス、産後の育児・家事援助サービスなど保護者を支援するサービス、医療機関での任意の予防接種など子どもの健康保持や子育て家庭を支援するサービスなど幅広い子育て支援サービスに対応できる事業であった。

その他、平地が少ない地形での企業誘致や、住宅地確保が困難なため空き家活用などを検討するなど、相生市ならではの施策を推し進めていく姿勢を強く感じた。

6 主な質疑項目

- (1) 新婚家庭家賃補助について
- (2) 子育て支援事業の目標値、到達点について
- (3) 給食費無料化について
- (4) 子育て世代に魅力ある11の事業の認知度について

7 その他

【共同視察者】 子ども家庭部子ども家庭課長 大野哲男

